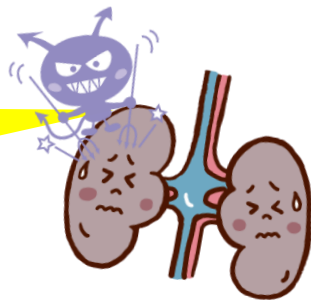


健診では問題  
ないのに...?

# 透析リスク

## が隠れているかも



当院で人間ドックまたは健康診断を5回以上受診\*していただくと、あなたの腎機能の長期推移を示す図【Long term eGFR plot: LTEP(エルテップ)】を結果報告書にお付けします。

※eGFRを含むコース

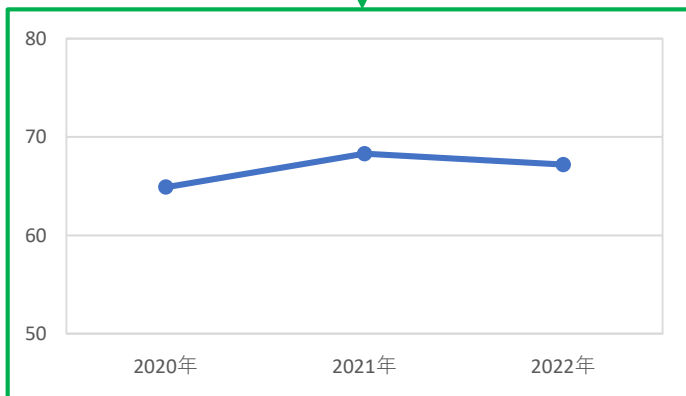
健診では、腎機能の指標（eGFR）が60未満でC判定になります。「自分はいつもA（またはB）だから大丈夫！」と安心していませんか？実は、eGFRは1～3年程度の短期間の推移では悪化に気づきにくいことがわかっています。

下の二つの図は、ある方の腎機能の推移を示しています。左側の図のように、短期間で見るとこの方のeGFRは安定しているように見えます。しかし、右側の図のとおり、長期間（LTEP）で見ると80歳頃には透析に至る可能性があることがわかります。透析に至らなくても、腎機能が悪化すればするほど心筋梗塞や脳梗塞、脳出血等のリスクが増すため、腎機能が悪化傾向の場合、早期の介入が望ましいとされています。

「透析をせずに人生を送ることができるか」、あなたの将来の透析リスクを見てみませんか？

定期的に人間ドックまたは健康診断を受診していただき、継続的にeGFRを測定することで、将来の透析リスクを早期に発見しましょう。

### 短期間の腎機能の見方



現在52歳。3年間のeGFRの数値だけで見ると、安定した推移ですが…？

### 長期間の腎機能の見方



長期間で腎機能の推移を見ると80歳頃には透析が必要に!?

短期間の腎機能の見方では腎機能の悪化が見逃され続ける恐れがあります

